

東京の鉄道における持続可能な運行に関する検討会（第１回）

議事要旨

■日 時：令和７年７月１５日（火）１１：００ ～ １２：００

■場 所：東京都庁第一庁舎 ７階大会議室

■主な議事：

（１）検討会の設置について

（２）鉄道事業者における技術者不足に関する実情や取組事例の紹介

（１）検討会の設置について

・東京都から資料１のとおり説明があった。

（２）鉄道事業者における技術者不足に関する実情や取組事例の紹介

・鉄道各社から、資料２のとおり報告があった。

<主な意見>

① 鉄道事業者における技術者不足に関する実情

- ・新卒の採用のほか、中途採用や退職者の再就職などにより、現状のところは、当面の技術者確保ができている状況。
- ・一方で、現状は５０代以上の従業員数が多く、この従業員の今後の定年退職状況や、少子高齢化に伴う今後の採用競争の激化を勘案すると、従業員数は近い将来に減少する見込み。
- ・また、鉄道施設物の老朽化や激甚化する自然災害への対応、ホームドアの整備拡大など、今後、点検や保守工数の大幅な増加が見込まれている。

② 鉄道事業者における取組事例の紹介

- ・一定の専門性・技能を有する外国人を受け入れることを目的とする制度（特定技能制度）に鉄道分野が対象となったことを受け、国際協力の推進団体やグループ会社と連携し、外国人人材の育成に取り組んでいる。
- ・将来の人材不足に備えて、限られた人数で安定的な鉄道運営を維持できるよう、ワンマン運転区間の拡大や自動運転の検証などに取り組んでいる。
- ・券売機や改札機などの駅務機器の遠隔操作とカメラ付き通話対応が可能なシステムを導入し、駅業務の効率化を図っている。
- ・相互直通運転他社と連携した、無線を利用した信号システムの導入による保守設備点数の削減や、線路設備を常時観測するシステムの共同利用に取り組んでいる。
- ・運輸系職員の確保に向けて、年齢要件の拡大など採用選考の見直しを実施している。

以上